

第81回都市対抗野球大会 大阪・和歌山第2次予選 組み合わせ

◎ 日程表

第○日	月	日	曜日	球場	球場
1	6	4	金	A	B
2	5	土	C	D	
3	6	日	E	F	
4	7	月	G	H	
5	8	火	I	J	
6	9	水	K	L	
7	10	木	M		
8	11	金	N	O	
9	12	土	予備日		
9	13	日	雨天順延		
9	14	月	イ		
	15	火	予備日		
	16	水	予備日		
	17	木			
	18	金			
	19	土			
	20	日			
10	21	月		口	
	22	火			
11	23	水		ハ	
	24	木			

◎ 試合方法
 企業4チームと1次予選通過上位2チーム=合計6チームでの総当りリーグ戦
 上位4チームによる、変則敗者復活トーナメント
 上位2チームが本大会へ出場。
 「第2代表決定戦の敗者」と「イの敗者」の2チームが、近畿地区代表決定戦へ出場。

会期: 平成22年6月4日(金)~11日間
 予備日 6月12日(土)、14日(月)、15日(火)、16日(水)
 場所: 舞洲ベースボールスタジアム
 京セラドーム大阪

◎ 参加チーム
 【企業】 パナソニック、日本生命、大阪ガス、NTT西日本
 【クラブ】 クラブチームによる第1次予選上位2チーム

A1=	パナソニック
A2=	NTT西日本
A3=	日本生命
A4=	大阪ガス
A5=	和歌山箕島球友会
A6=	中山製鋼野球クラブ

舞洲=	リーグ戦	8日間	15試合
舞洲=	トーナメント	1日間	1試合
ドーム=	トーナメント	2日間	2試合
11日間 18試合			

◎ リーグ戦

第○日	第1試合=9:30~				第2試合=12:30~			
第1日	A	パナソニック	11 対 1	B 中山製鋼野球クラブ	B	NTT西日本	2 対 1	I 和歌山箕島球友会
第2日	C	日本生命	4 対 0	D 中山製鋼野球クラブ	D	大阪ガス	1 対 3	J 和歌山箕島球友会
第3日	E	パナソニック	1 対 0	F 大阪ガス	F	NTT西日本	6 対 3	K 日本生命
第4日	G	パナソニック	4 対 0	H 和歌山箕島球友会	H	NTT西日本	5 対 1	L 中山製鋼野球クラブ
第5日	I	日本生命	6 対 0	J 和歌山箕島球友会	J	大阪ガス	9 対 2	M 中山製鋼野球クラブ
第6日	K	パナソニック	2 対 1	L 日本生命	L	NTT西日本	5 対 3	N 大阪ガス
第7日	M	和歌山箕島球友会	2 対 1	O 中山製鋼野球クラブ				
第8日	N	日本生命	3 対 0	P 大阪ガス	O	パナソニック	4 対 5	Q NTT西日本

◎ 勝敗表

	パナソニック	NTT西日本	日本生命	大阪ガス	和歌山箕島球友会	中山製鋼野球クラブ	勝敗
パナソニック	●	○	○	○	○	○	4勝1敗
NTT西日本	○	●	○	○	○	○	5勝
日本生命	●	●	●	○	○	○	3勝2敗
大阪ガス	●	●	●	●	○	○	1勝4敗
和歌山箕島球友会	●	●	●	○	●	○	2勝3敗
中山製鋼野球クラブ	●	●	●	●	●	●	5敗

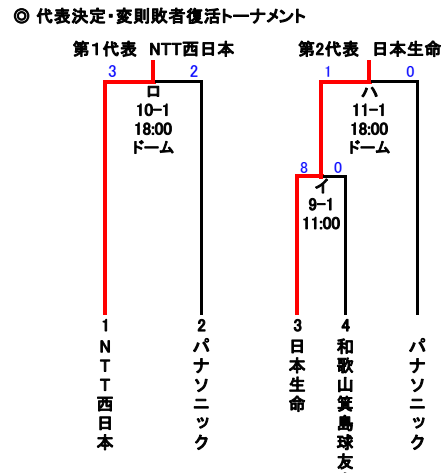
- ◎ リーグ戦順位決定方法
- 勝ち数
 - 2チームの勝敗が並んでいる場合、当該対戦の勝者を上位とする
 - 3チーム以上の勝敗が並んでいる場合、(並んでいる)当該チーム同士の対戦成績を対象とし、以下の順で順位を決する。
 - 得失点率差が大きいチームを上位
 - 失点率が小さいチームを上位
 - 自責点率が小さいチームを上位
 - チーム打率が高いチームを上位
 - 抽選(コイントス)

◎ リーグ戦順位

1位=	NTT西日本
2位=	パナソニック
3位=	日本生命
4位=	和歌山箕島球友会
5位=	大阪ガス
6位=	中山製鋼野球クラブ

※ 定義 (小数点3位までとし、4位以下は切捨て)
 得点率 ... 総得点/総攻撃イニング数
 失点率 ... 総失点/総守備イニング数
 得失点率差 ... 得点率-失点率
 自責点率 ... 総自責点/総守備イニング数
 チーム打率 ... 安打数/打数

※ 上位4チームがトーナメントへ進出



※「イ」と「ハ」の敗者2チームは近畿地区代表決定戦へ出場